

宮崎市 中央卸売市場

仕事人の美学

青果、水産物は昭和52(1977)年から、花きは平成7(1995)年から業務を始めた宮崎市中央卸売市場。イオンモール宮崎近くの新別府町雀田にあります。生目の杜運動公園のアイビースタジアムが5つ入る大きさです。今回は市場の役割とそこで働く人たちの「本気」をお届けします。

今回は魚市場を例に

宮崎の食を支える卸売市場の誇り

宮崎市中央卸売市場は市の施設です。この市場には青果部2、水産物部、花き部各1の卸売業者と青果部13、水産物部10、花き部4の仲卸業者が所属し、売買を行っています。市場課の役割は建物などのハード面と、取引が正しく行われているかのソフト面での管理です。時には一定の品質が保たれているか、売買での不正がないか、抜き打ち検査を行っています。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、残念ながら宮崎特産の「完熟マンゴー」や「スイートコーン」などの初競りの取材、市場見学会の機会を設けられていません。市民の皆さんに安定的に安全な食材を届けるために、中央卸売市場で日夜約2,000人以上の人たちが誇りを持って、働いていることをぜひ知ってほしいと思います。



市場課
(宮崎市中央卸売市場
管理事務所)
川野昭子

宮崎の食を支える「市場で働く」人たち

卸売業者



遠洋、沖合、沿岸などで獲れた天然もの、養殖ものの魚介類などを漁業者から預かり、仲卸業者や売買参加者に売る。

仲卸業者



市場の中に店があり、買い出しに来る鮮魚店などの小売業者に売る。

売買参加者



鮮魚店やスーパーなどで卸売業者から直接買える資格を持つ。

(株)宮崎魚市場 黒木祐幸さん

卸売業者として25年、市場で働く。「一気にやらないといけないのがこの仕事の難しく、おもしろいところ」(黒木さん)。「活気があり、昔ながらの市場だね」と言われることもありますよ」とも。

丸一鮮魚(有) 築地喜代美さん

「仲卸として、私で三代目。母の背におぶわれて、小さい頃からこの市場で過ごしてきました。魚を見て、扱うことが本当に楽しい」(築地さん)。女性の少ない職場で笑顔がひとときわ輝いている。

(有)ショッピングのだ 佐藤揚太さん

もともと仲卸業者だったが、結婚を機に売買参加者に。「多少値段が高くて、品質のよい魚を買うだけ。消費者を裏切るような商品は買いません」(佐藤さん)。目利きした新鮮な魚が開店時に店頭で並ぶ。

生産者
青果、水産物、花き

卸売業者
● 宮崎中央青果(株)
● 宮崎青果(株)
● 宮崎魚市場(株)
● 宮崎中央花き

※生産者から生産物を集荷し、せりを取り仕切る

仲卸業者
※一般の方は仲卸売場での買物はできません

買出人
加工業、ホテル、飲食店など

売買参加者
スーパー、青果店、鮮魚店、生花店など

※下見をし、品定めをして、その日に欲しい品物を買っていく。自社のトラックへ積み(分荷)、荷物を運ぶ

消費者
市内・県内のほか、東京、大阪、福岡などの県外地域へ

市場に漂う静かな熱気……



集荷
発泡スチロールのトロ箱が並ぶ



下見
長年培ったプロの目で



せり(魚)
ライバルの声にも耳を傾け、せり落とす



せり(花き)
場内とネット越しの業者に魅力を伝える



せり(青果)
独特の掛け声で仲買人を煽る

問 市場課 TEL 29-1501 FAX 29-1505

市農政部
Facebookも見てね。

